

第3回 広瀬団地再生ビ ジョンの策定に 向けたプラット フォーム定例会

- 1 ■ ワークショップのまとめ
- 2 ■ 再生ビジョン（素案）について
- 3 ■ グループワークの進め方について



1. ワークショップのまとめ

開催概要

第1回 6/30(日)

テーマ：広瀬団地を知り、
気付きをマッピングする

作業内容：広瀬団地の現状把握

参加者数：30名

第2回 7/28(日)

テーマ：再生テーマの
具体的な展開例を考える

作業内容：理想のまち、モノ、コトの提案

参加者数：30名

第3回 9/8(日)

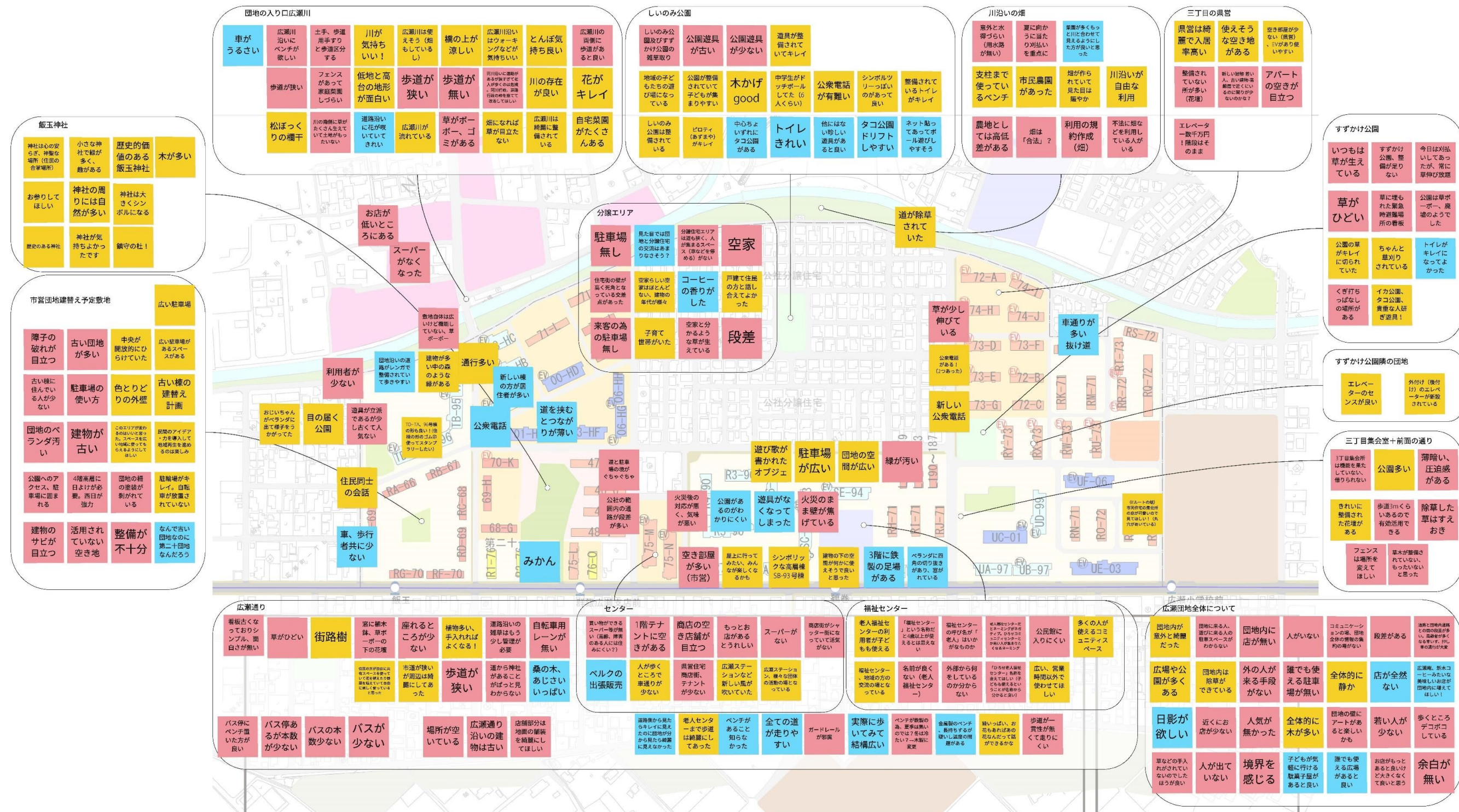
テーマ：テーマを実現するために活動始める

作業内容：モノ・コトを実現する
プロジェクトの具体的検討

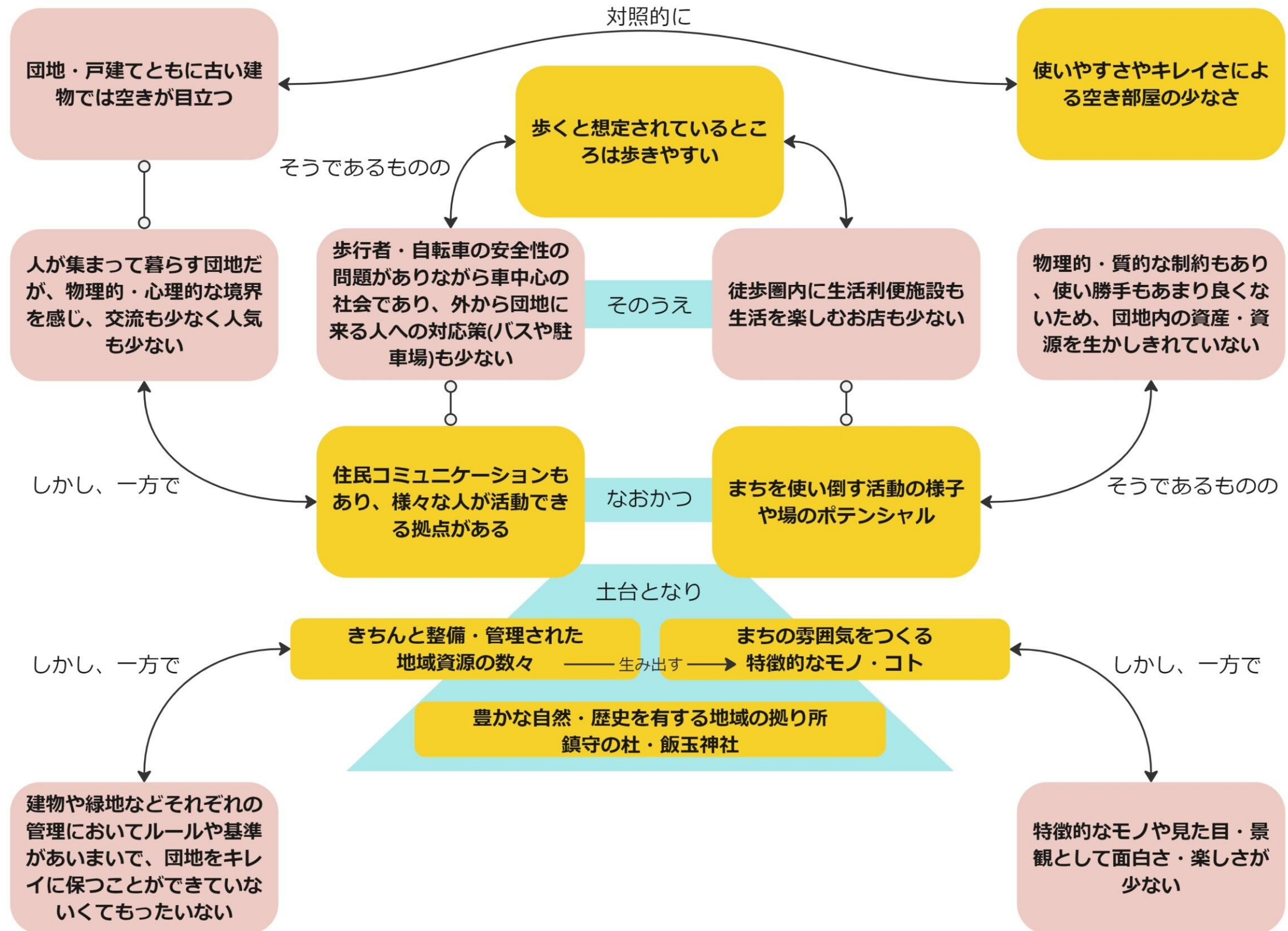
参加者数：21名



団地を散策して、良い点・課題点を探り、マッピングする



みんなの日常のつばやきから、団地を評価する



■作業テーマ

広瀬をどんな「まち」にしたいか、

その「まち」にはどんなモノ・コトが必要だろうか？

理想の「まち」

人が集まる 感じられる / チャレンジ / 個性的 / 変化	緑を中心 / 環境・屋外・ 自然 / きれい・美しい	遊びたくなる / 子ども・多世代	広瀬繁華街 / 生活 / 徒歩圏 / 交流	アクセス しやすい / 交通 / 来街	住み続けたい / ふるさと / 高齢者に優しい / ペット	防災・防犯 / 安全 / 安心 / 福祉
---	-------------------------------------	---------------------	-----------------------------	---------------------------	--	----------------------------

モノ

移動スーパー	安心して歩ける歩道	神社の緑	団地民泊
集まって食事ができる場所	芝生公園	1日単位のチャレンジショップ	
住民のシェア本棚	個々の特徴のあるお店	シェアカー	イベントスペース

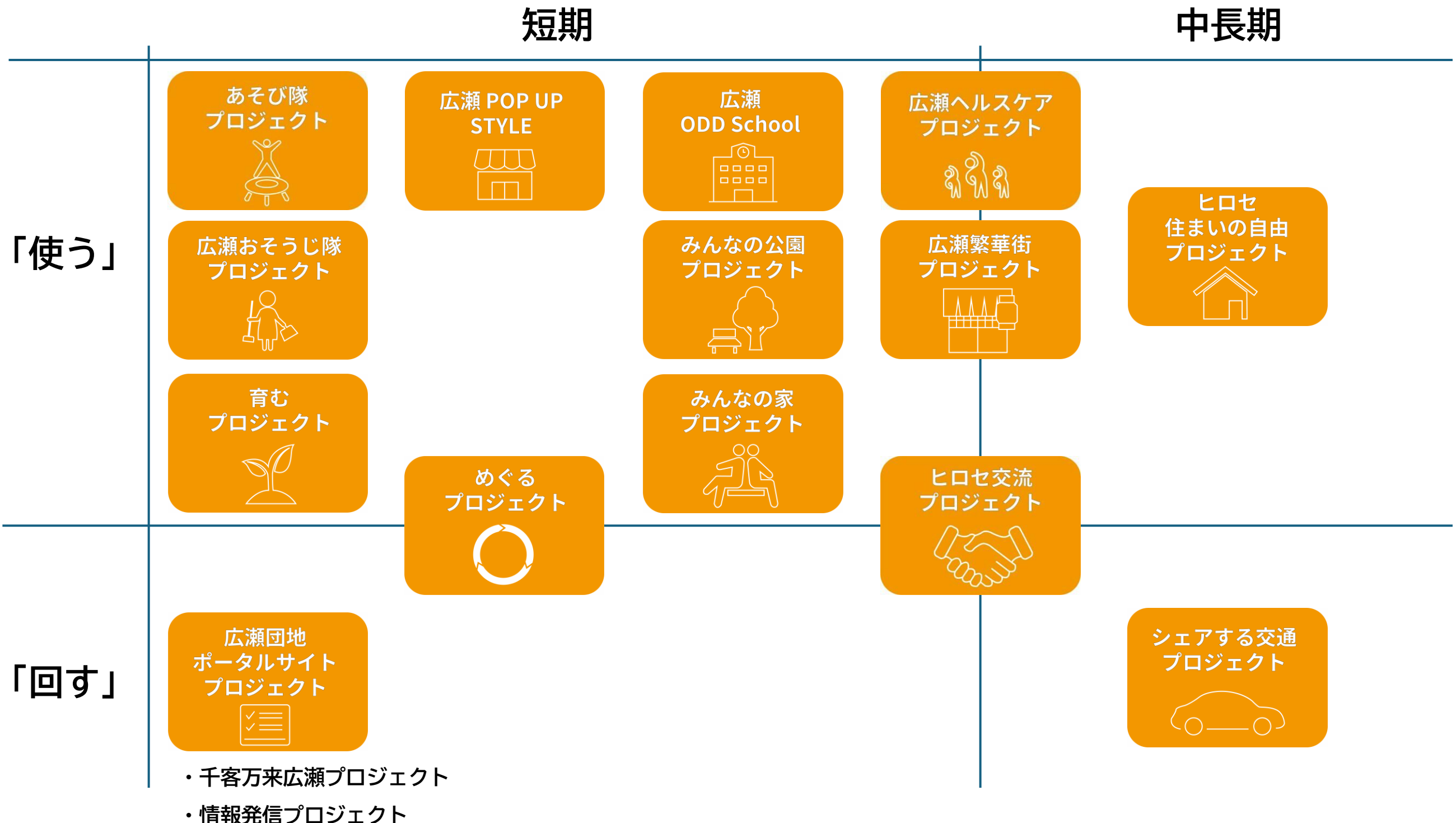
コト

縁日カフェ	家賃がお手頃	相乗りシステム	地域でルールを決められる
広瀬団地公式 SNS	団地の空き部屋を活用するシステム	地域の人で団地をきれいにする体制	
川、緑のイベント	キャンプ（広場などで）	広瀬フェス	水遊びがしたい！

※モノ・コトは一部抜粋して掲載

■作業テーマ

モノ・コトを実現するために プロジェクトを始める



第3回の成果一覧表※資料2（A3資料）を参照ください

	キャッチフレーズ	プロジェクト	概要	アクションプラン	自分たち(住民、学生)	県・市・公社	民間事業者
1班	自分がやりたいことを実現できる	広瀬ヘルスケアプロジェクト	住民の健康維持の仕組みづくり	・歩いた歩数に応じて買い物ポイントがもらえる	・歩く、消費 ・自治会主催の散歩		・ポイントを使う
		広瀬POP UP STYLE	様々な場所や企画を通して生活を便利にする	・夜市、稲祖上祭 ・POP UP SHOP ・キッチンカーパーク定期開催 ・商店街の復活。リーシングして街にあった店を出させる ・公園でビアガーデン ・月1回のマルシェ	・宣伝(ロコミ)、ボランティア参加 ・場所の提供	・予算 ・管理 ・協力事業者の募集 ・場所の提供	・運営管理 ・協賛 ・企画制作
		広瀬ODD School	生涯学習の場をつくる	・生涯学習を実現するコミュニティスクール(学食)ODD食堂 ・生涯学習を実現する令和のトキワ荘(アーティストレジデンス)ODD荘 ・生涯学習を実現する月3万で稼ぐシェアアトリエ ・生涯学習を実現するクロスカルチャーの文化祭	・広瀬のストリートに学食を出現させる ・文化祭の継続実施 ・団地の空き部屋をかりてやる	・低利用の集会場の活用 ・場所/予算ほしい	
		シェアする交通プロジェクト	団地に来る/出る、交通を共有する	・バスジャーニー(仮)バスを団地用に走らせる。広告協賛を得ることで予算を作る。 ・駐車スペースの貸し借りができる町 ・外から来やすい街(コインパーキング、公共交通)	・空き地の駐車スペースを提供 ・イベント時などにお願 ・交通手段の提供	・未利用の公共用地の提供	
		広瀬団地ポータルサイトプロジェクト	独自の広瀬団地ポータルサイトを作る。※情報発信、閲覧板の代替。			・閲覧板の電子化	
2班	DIY広瀬	千客万来広瀬プロジェクト	外からも人やお店がたくさん来るようにする	・閲覧板を電子化、SNS連動 ・広瀬団地ホームページ作成 ・階段登ろう会(高層階も)	・WS参加者が周りの人に広瀬団地をアピール ・県/市/公社とSNS運用について協議	・広瀬団地公式HP、SNSルール作り	・ユニバーサルデザインの(見やすい)HP作成
		めぐるプロジェクト	世代、団地(回遊)、お店、交通、四季(団地の緑)	・馬/人力車プロジェクト ・ポイント制(マルシェで使える、野菜と交換) ・勝手にマルシェ(市場) ・話を聞く ・移動販売は多数で実施	・ふんを集める ・住民の手作り作品販売 ・団地周辺に出店してくれるお店探し(知り合いに掛け合う) ・広瀬町キッチンカー→キッチンカーを買ってしまう ・管理者が必要(何事にも)	・起業支援補助金?テナントの家賃割引制度 ・物事を始めるのに前例がないと言わない(言わせない) ・空き住戸を貸す	・住民が事業者
		育むプロジェクト	世代(交流)、起業(支援)、緑を増やす)	・ゴミ拾い、花壇整備、草むしり、神社の掃除→手間をイベント化 ・広瀬跡地/団地内で菜園(広瀬産野菜)	・みんなの畑 ・使っていない集会所、老人福祉センターの一面借りの交渉 ・寄りあい所に拠点→市に掛け合う	・跡地活用について検討する(菜園用途)	
3班	笑顔笑顔の広瀬団地 ・住んでみなよ広瀬団地 ・笑顔集まる広瀬団地 ・子育てするなら広瀬団地 ・一生広瀬 ・みらいえいごうニュータウン ・ようこそ広瀬	広瀬おそうじ隊プロジェクト	公園や道路の雑草を無くして街をきれいにするプロジェクト。	・月1回、平日にまちの関係者たちと一緒にごみゼロ運動	・まず皆に声をかけてできる人からやってみる ・自治会から広める ・学校にお願いして協力してもらう ・大学生に住んでもらい若い担い手を増やす	・パトロールカーを出す ・住まいを用意してもらう(安く)	・人を出してもらう(お店開く前)
		あそび隊プロジェクト	・大人/子どもがともに遊べるイベント ・鎮守の杜で自然観察プロジェクト ・”かわいい”集まれプロジェクト ・フワフワドームと噴水 ・他所にない祭り開催	・子どもが集まるイベントをやる	・子どもたちと一緒にまちの探索をする ・学校や保育園に参加を呼び掛ける ・季節に合わせたイベントを考える ・掲示の内容をつくる ・アンケートを取り、選んでもらう	・市に公園を使わせてもらう ・県/市/公社の方に個人として参加してもらう ・市のSNS、インスタで広報してもらう ・掲示板をたててもらう	・個人として参加してもらう ・キッチンカーを出してもらう
		広瀬繁華街	・生産者の不良品野菜専門の店。広瀬繁華街のセールスポイント ・ちょうらん街。テナント料を安くしてゴミ問題に取組む ・フリーマーケットで地域活性化プロジェクト				
4班	つどって交流すれば未来が ひらける！	ヒロセ交流プロジェクト	いろんな活動を通じていろんな人同士が交流する	・相乗りして交流して買い物できる ・交流が多いシェアカー ・相乗り買い物プロジェクト ・自作の野菜を地域内で消費 ・一人暮らし高齢者みまもりプロジェクト ・栽培クラブ ・若い人たちの集会 ・老人福祉センター活用プロジェクト ・健康推進委員会	・郵便局が待合い場所になり調整する ・相乗りのお知らせをSNSで発信 ・行先を調整する ・自分たちの車でついでに乗せていく ・ゆるキャラをつくる	・マイタクで車両を利用できる(市)	・シェアカーをディーラーに提供してもらう(群馬トヨベット) ・デイサービスの送迎!ついでに乗せてもらう ・スーパーから買い物ツアーに迎えに来てもらう
		ヒロセ住まいの自由プロジェクト	空いてしまっている部屋や施設を自由に活用する	・市の公営住宅学生入居 ・部屋を自由に活用するプロジェクト →来客を泊める場所。皆で食事ができる食堂。	・学生に向けたアンケート調査 ・若い人たちと話をする、話を聞く ・集会所で食事ができる場所 ・自分たちで自家野菜をつくる、育てる	・公営住宅を自由に使えるように調整する ・老人センターで調理、食堂ができるようにする	
		情報発信プロジェクト	SNSを活用して地域内の人、地域外の人たちに情報発信する	・団地住民全員が認知してもらえるプロジェクト ・情報発信、若者を引っ張り出す ・SNSを活用した魅力発信プロジェクト			
5班	広瀬だよ！全員集合！	みんなの家プロジェクト	・雨でも集まれる場所 ・静かに集まれる場所 ・日中いつでも入れる場所(予約なしで)	・自由に貸し借りできる本棚→くつろげる場所に併設 ・借りられる部屋 ・みんなの家マップ ・集まって遊んだり料理したりする場所	・住民が本を寄付 ・学生が本の回収をお手伝い ・皆で本棚をつくる ・本棚の整理整頓 ・友達に紹介する ・マップ作り ・お気に入りの場所を聞く ・大学生による借用依頼 ・ごはんを作る	・空き部屋の情報共有	
		みんなの公園プロジェクト	・その場所ですしか遊べない遊具がある公園 ・団地内を巡るウォーキングコース ・団地の空き部屋を改装→素泊まり施設化(オフィスとして利用)(映えスポット)	・水遊びができる公園 ・運動/スポーツ専用の公園 ・屋外トランポリン ・傘いっぱいウォーキングコース	・現存している公園の利用状況を調査 ・コースづくり ・マップ作り ・お気に入りの場所を聞く ・おすすめのコースを何かしらの形で共有		

各班のキャッチフレーズ

1 班

自分がやりたい
ことを実現
できる

2 班

DIY 広瀬

3 班

- ・ 笑顔笑顔の広瀬団地
- ・ 住んでみなよ広瀬団地
- ・ 笑顔集まる広瀬団地
- ・ 子育てするなら広瀬団地
- ・ 一生広瀬
- ・ みらいえいごうニュータウン
- ・ ようこそ広瀬

4 班

つどって交流
すれば未来が
ひらける！

5 班

広瀬だよ！
全員集合！

2. 再生ビジョンについて

■ ビジョンの策定に向けた進め方（第2回PF資料抜粋）

- ・ ビジョン策定にあたっては、プラットフォーム定例会（全4回）、ワークショップ（全3回）を行い、みなさまと一緒に意見交換やアイデア検討を行います。
- ・ これらのプラットフォーム定例会やワークショップでのみなさまの意見を踏まえ、最終的なビジョンの決定は、県・市・公社が行います

■ ビジョン策定までの流れ



■ 広瀬団地再生ビジョンとは（第2回PF資料の一部抜粋）

○地区の課題の解決や価値向上に向けて、広瀬団地の関係者が連携して団地再生に取り組むために、再生のコンセプト、再生テーマ、団地の将来イメージ、実現に向けたプロジェクトのアイディア等を取りまとめたもの

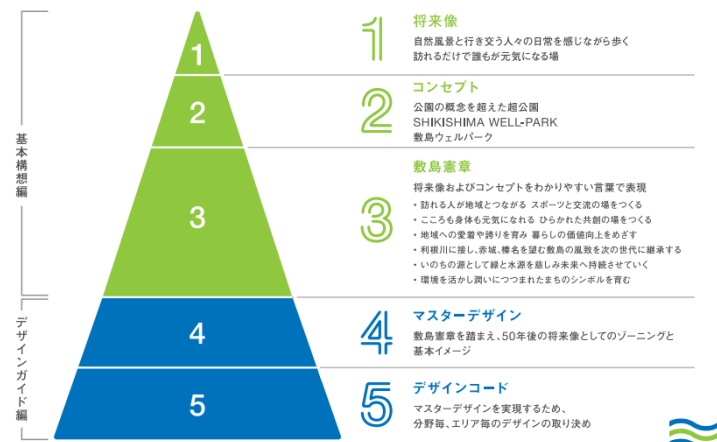
例：敷島エリアグランドデザイン（群馬県・前橋市）の冊子

SHIKISHIMA AREA GRAND DESIGN

敷島エリア
グランドデザイン

群馬県・前橋市

概念図



考察とアイデア：敷島公園全体の活性化を図る、全体構想
敷島エリア

公園の概念を超えた超公園

SHIKISHIMA
WELL-PARK

敷島ウェルパーク

まちのウェルネス拠点、敷島ウェルパーク。
自然を感じ、生活者を感じ、
今を生きること感謝できる場所。
訪れる全ての人々の健やかな体験と時間を約束する、
世代を超えて愛される暮らしと公園が優れつつある新たなまちづくり。

訪れるだけで、ここが
満たされワクワクする
環境デザイン

誰かとお会い
対話が生まれる
交流拠点機能

世代を超えた
共感共鳴を生み出す
感動体験の創出

SHIKISHIMA
WELL-PARK

敷島ウェルパーク

敷島公園エリアの景色を変える美しいグリーンストリート。
園内の各種施設を結びつけ、
にぎわい・滞在性の創出に寄与していきます



目次

基本構想編

将来像・コンセプト	02
敷島憲章	20

デザインガイド編

マスターデザイン	28
デザインコード	40

管理運営編

新たなマネジメントの実現	60
--------------	----

敷島憲章

1 訪れる人が地域とつながる スポーツと交流の場をつくる

公園を訪れる多様な人々が、地域の自然や文化に触れ、世代を超えた交流が生まれる拠点を包括的に育てていきます。

2 ここでも身体も元気になる ひらかれた共創の場をつくる

誰ひとり取り残されることなく、心身共に健康になれる場を多様な立場の人々と共に生み出していきます。

3 地域への愛着や誇りを育み 暮らしの価値向上をめざす

地域を思い、主体的に参加することで、愛着や誇りが生まれ、活力あふれるまちの暮らしや、新しい価値が形成されていきます。

4 利根川に接し、赤城、榛名を望む 敷島の風致を次の世代に継承する

先代から受け継いだ、利根川の松林や雄大な山々の景観を守り、次の世代へと大切に受け継いでいきます。

5 いのちの源として緑と水源を 慈しみ未来へ持続させていく

古くから地域の資産であるいのちの源を慈しみ、美しい水と緑の豊かな自然を次世代へと継承します。

6 環境を活かし潤いにつつまれた まちのシンボルを育む

豊かな自然環境に恵まれたスポーツの聖地は、世代を超えたまちのシンボルとして長く愛されています。

■ ビジョンの構成案

1. ビジョン策定の目的
2. 広瀬団地について
3. 広瀬団地の魅力・課題
4. 近年の社会動向を見据えたまちづくりの視点
5. ビジョンの基本姿勢
6. 再生コンセプト
7. 再生テーマ
8. プロジェクトのアイディア
9. 広瀬団地の将来イメージ
10. ビジョン実現に向けた方策
11. ロードマップ

第1～2回WSや、団地の現状を示すデータ・物的な状況、3者の上位計画等をもとに整理

本日、たたき台を元に意見交換

第3回WSの結果を元に本日グループワーク

本日、将来のまちづくりの体制について意見交換

※青字は第4回プラットフォームで案を提示

■本日の論点

- ①ワークショップでの結果等を踏まえ、
事務局で検討した再生テーマ（案）について意見交換
 - ②ビジョン策定後、プロジェクトの進め方や
将来的な広瀬団地全体のまちづくりの体制についての意見交換
- ※ビジョンに反映するコンセプトやプロジェクトについては、この後、グループワークで掘り下げ

■ 再生テーマ案

※お手元の資料3（A3資料）をご覧ください

広瀬団地の魅力・強み まとめ

A1: 地域に活力を生み出す人々や活動の存在

- ①住民のコミュニケーションもあり、様々な人が活動できる拠点がある
- ②まちを使い倒す活動の様子や場のポテンシャル
- ③広瀬団地再生に興味を持つ住民・事業者の存在
- ④働き盛り世代のUターンや子育て世帯の移住がある

A2: 広瀬団地らしさを構成する資源

- ①豊かな自然・歴史を有する地域の拠り所、鎮守の杜・飯玉神社
- ②広瀬川の景観や県内屈指の古墳群跡地の歴史
- ③まちの雰囲気をつくる特徴的なモノ・コト(高層棟、花、駐車場等)

A3: 手入れされた心地のよい環境・空間

- ①きちんと整備・管理された地域資源の数々
- ②歩くと想定されているところは歩きやすい
- ③使いやすさやキレイさによる空き部屋の少なさ

A4: 県内最大の団地

- ①建設年度の異なる様々な住宅ストックがある
- ②公社が公的住宅を一元管理しており、団地再生に取り組みやすい

A5: 水害・液状化のリスクが低い

広瀬団地の今後の課題 まとめ

B1: まちの荒廃

- ①団地・戸建てともに古い建物では空きが目立つ
- ②特徴的なモノや見た目・景観として面白さ・楽しさがない
- ③建物や緑地などそれぞれの管理においてルールや基準があいまいで、団地をキレイに保つことができていない

B2: 孤立化・孤立死

- ①人が集まって暮らす団地だが、物理的・心理的な境界を感じ、交流も少なく^{ひと}人気もない

B3: 店舗のさらなる撤退

- ①歩行者・自転車の安全性の問題がある一方で、車中心の社会であり、外から団地に来る人への対応策も少ない

B4: 移動手段の喪失・買い物難民の発生

- ①徒歩圏内に生活利便施設も、生活を楽しむお店も少ない

B5: 有効活用できない低未利用地の増加

- ①物理的な制約もあり、使い勝手もあまりよくないため、団地内の資産・資源を活かしきれていない

広瀬団地の理想の姿

- C1 人が集まる・感じられる/チャレンジ/個性的/変化
- C2 緑を中心/環境・屋外・自然/きれい・美しい
- C3 遊びたくなる/子ども・多世代
- C4 広瀬繁華街/生活/徒歩圏/交流
- C5 アクセスしやすい/交通/来街
- C6 住み続けたい/ふるさと/高齢者に優しい/ペット
- C7 安全/安心/福祉/防犯/防災

プロジェクトをはじめる

- C1 ポータルサイト/情報発信
- C2 育む/おそうじ隊
- C3 みんなの公園/POP UP STYLE
- C4 広瀬繁華街/みんなの家/ヘルスケア/交流(居場所)/OOD School
- C5 シェアする交通/交流(あいのり)/千客万来
- C6 住まいの自由
- C7 交流(見守り)
- C8 めぐる/交流(地域内消費)

広瀬団地の現状分析 & ワークショップ(第1回～第3回) & プラットフォーム(第1回～第2回)

未来のまちづくりの視点

D1: ミクストコミュニティ・多文化共生

D2: コンパクトなまちづくり

D3: カーボンニュートラル・地球温暖化

D4: 防災・減災

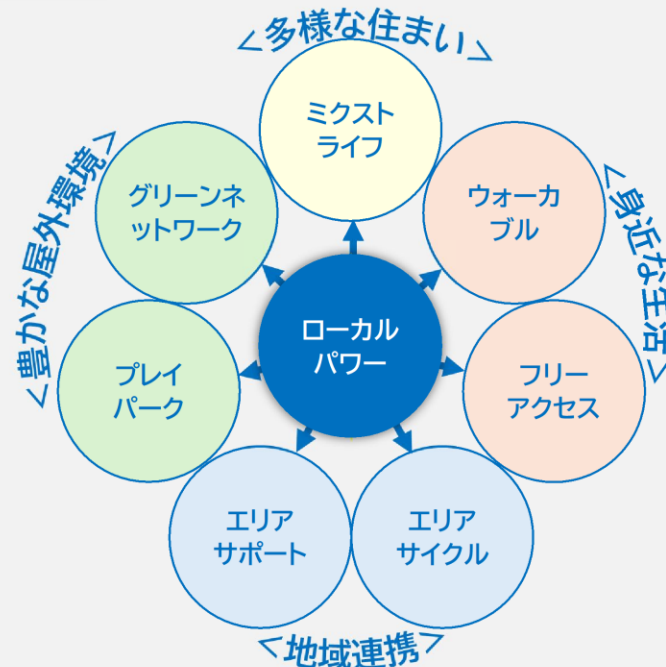
D5: 交通、MaaS

D6: 多様な主体が連携したまちづくり

※新・群馬県総合計画、第七次前橋市総合計画など

再生テーマ

広瀬団地再生をきっかけに集結した地域の力を核に、多様な主体の声を反映させた各再生テーマを軸として、団地再生の取り組みを推進する。



ローカルパワー C1(A1×B1×D6)

広瀬に集う人々の多様なチカラを活かして常にチャレンジし、まちのマネジメントができる

グリーンネットワーク C2(A2×B5×D3)

鎮守の森を中心に団地全体が広瀬川や緑地でつながり、一日中居心地よく過ごせる

プレイパーク C3(A1×B5×D3)

子どもも大人もアソビにいきたくなる

ウォーカブル C4(A1×B2・B3×D2)

一歩出れば、顔なじみへ出会い、にぎわいを楽しめる

フリーアクセス C5(B4×D5)

どこにでもお出かけしやすい・訪れやすい

ミクストライフ C6(A1・A4×B1・B2×D1)

多様な人々が100歳になっても元気に住みつづけられる

エリアサポート C7(A1×B2×D4)

地域・周辺で支えあい、安心して過ごせる

エリアサイクル C8(A4×B5×D2・D3)

人・もの・空間が循環し、持続的に発展する

※お手元の資料3（A3資料）をご覧ください



スケッチ表現
に変更予定

ローカルパワー

広瀬に集う人々の多様なチカラを活かして常にチャレンジし、まちのマネジメントができる

- ①未来を妄想するプラットフォームのあるまち
- ②チャレンジを応援するまち
- ③変化を求めマネジメントされているまち
- ④魅力を伝える情報発信力のあるまち



スケッチ表現
に変更予定

プレイパーク

子どもも大人もアソビにいきたくなる

- ①個性的なオープンスペースのあるまち
- ②誰もが楽しめるお祭り・イベントのあるまち



スケッチ表現
に変更予定

フリーアクセス

どこにでもお出かけしやすい・訪れやすい

- ①誰もが移動手段に困らないまち
- ②来街者が訪れやすいまち
- ③つまづかないでお出かけできるまち



スケッチ表現
に変更予定

エリアサポート

地域・周辺で支えあい、安心して過ごせる

- ①助けてくれる人がいる福祉のまち
- ②地域で見守る安全・安心のまち
- ③災害時にも機能する防災のまち



スケッチ表現
に変更予定

グリーンネットワーク

鎮守の森を中心に団地全体が広瀬川や緑地につながり、一日中居心地よく過ごせる

- ①開かれた鎮守の杜
- ②広瀬川とのネットワークで四季を感じられるまち
- ③地域で管理された緑につながったまち



スケッチ表現
に変更予定

ウォーカブル

一歩出れば、顔なじみに出会え、にぎわいを楽しめる

- ①歩いて健幸になれるまち
- ②ふらっと立ち寄れる居場所のあるまち
- ③地域密着型の商業・施設が混在したまち



スケッチ表現
に変更予定

ミクスライフ

多様な人々が100歳になっても元気に住みつけられる

- ①多様な世帯がいきいきと住めるまち
- ②ライフステージの変化に合わせた柔軟な住み替えができるまち
- ③多様なライフスタイルを叶えられるまち



スケッチ表現
に変更予定

エリアサイクル

人・もの・空間が循環し、持続的に発展する

- ①地域内で資源が循環するまち
- ②まちの更新に合わせて広瀬らしさが継承・創造されるまち
- ③ライフステージの変化に合わせた柔軟な住み替えができるまち(再掲)

プロジェクトの進め方や将来のまちづくりの体制について

●現在

広瀬団地再生ビジョンの策定 に向けたプラットフォーム

- ・再生ビジョン策定に向けた意見交換の場

●将来の体制

- ・民が中心となり団地のエリアマネジメントを実施する組織へステップアップ

(仮称)広瀬エリアマネジメント

- 例)
- ・団地の情報発信、相談窓口
 - ・イベントの企画・実施
 - ・オープンスペースのマネジメント
 - ・学生シェアハウス運営や住替えの斡旋

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

●ビジョン策定後（短期）

- ・プラットフォームは継続
- ・プロジェクトはタスクフォースで検討

広瀬団地再生プラットフォーム

- ・団地全体の再生の取組を検討・調整する場
- ・個別のプロジェクトの情報共有・交換の場

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

タスク フォース

- ・各プロジェクト
具体的に検討・実
施するチーム

■ 今後の広瀬団地再生の流れ

団地再生ビジョン策定（R5～R6）



団地再生基本計画作成（R6～R7）



前橋市建替事業・公社建替事業（その他基本計画に基づく整備等）、
各プロジェクトの推進（R7～）

3. グループワークの進め方について

■グループワークの目的

●第3回ワークショップの結果をビジョンに反映するための深堀

①プロジェクトの重みづけと足りないものの追加

②コンセプト・キャッチフレーズの絞り込み

※本日のご意見を踏まえビジョンへの載せ方を検討します

参考：第3回ワークショップでのアドバイザーのコメント

■大月先生

- ・ 空き空間を使う、使うために集い妄想する場があるということが重要
- ・ 空間を『使う』：店、泊まる、みんなの公園、健康、維持管理
- ・ 『使う』ために『回す』：人・モノ・情報を回す
- ・ 神社の話はどうなったか等、足りない視点を考える
- ・ 誰が、いつやるか、一斉に全部やるのは大変なので、重みづけをつける

■宮崎先生

- ・ 準備をしている間に熱が冷めてしまうので、すぐできるアイデアは良い
- ・ 「ごみ拾い」「ランニングコースづくり」「馬の活用」「公園」等すぐに取り組みそうに思えた
- ・ 誰がやるかが重要、WSを契機に相談できる仲間が増えたので体制づくりを進めてもらいたい

1. グループワーク（計30分）

（1）プロジェクトの重みづけと足りないものの追加（20分）

- ①WSに欠席者より、追加したいプロジェクトの意見を聞く
- ②WSに出席者で追加したいプロジェクトがある場合は発言
- ③各参加者より、早期に実施すべきプロジェクト、時間はかかるが重点的に進めるべきプロジェクトについて意見をもらう
（※複数ある場合は、早期・重点各3つまで）
- ④上記の結果を踏まえグループ内で重みづけを整理



（2）コンセプト・キャッチフレーズの絞り込み（10分）

- ①WS結果を元に各参加者より個別に意見
- ②意見を踏まえ、グループ内で絞り込み



※シートイメージ（A1 縦使い）

■ワークシート 1 (班、参加者 :)

プロジェクト名	概要	早期実施	重点実施
広瀬ヘルスケアプロジェクト	・住民の健康維持の仕組みづくり	※ 正 の 字 で 記 入	※ 正 の 字 で 記 入
広瀬 POP UP STYLE	・様々な場所や企画を通して生活を便利にする		
広瀬 ODD School	・生涯学習の場をつくる		
シェアする交通プロジェクト	・団地に来る/出る、交通を共有する		
広瀬団地ポータルサイトプロジェクト	・独自の広瀬団地ポータルサイトを作る。 ※情報発信、回覧板の代替。		
千客万来広瀬プロジェクト	・外からも人やお店がたくさん来るようにする		
めぐるプロジェクト	・世代、団地（回遊）、お店、交通、四季（団地の緑）		
育むプロジェクト	・世代（交流）、起業（支援）、緑（を増やす）		
広瀬おそうじ隊プロジェクト	・公園や道路の雑草を無くして街をきれいにするプロジェクト。		
あそび隊プロジェクト	・大人/子どもがともに遊べるイベント ・鎮守の杜で自然観察プロジェクト ・”かわいい”集まれプロジェクト ・フワフワドームと噴水 ・他所にない祭り開催		
広瀬繁華街	・生産者の不良品野菜専門の店。広瀬繁華街のセールスポイント ・ちょうちん街。テナント料を安くしてゴミ問題に取り組む ・フリーマーケットで地域活性化プロジェクト		
ヒロセ交流プロジェクト	・いろんな活動を通じていろんな人同士が交流する		
ヒロセ住まいの自由プロジェクト	・空いてしまっている部屋や施設を自由に活用する		
情報発信プロジェクト	SNS を活用して地域内の人、地域外の人たちに情報発信する		
みんなの家プロジェクト	・雨でも集まれる場所 ・静かに集まれる場所 ・日中いつでも入れる場所（予約なしで）		
みんなの公園プロジェクト	・その場所ではしか遊べない遊具がある公園 ・団地内を巡るウォーキングコース ・団地の空き部屋を改装→素泊まり施設化（オフィスとして利用）（映えスポット）		

※追加記入できる欄

■ワークシート 2 (班、参加者 :)

コンセプト・キーワード	意見
●自分がやりたいことを実現できる	
●DIY 広瀬	
●笑顔笑顔の広瀬団地 ●笑顔集まる広瀬団地	
●住んでみなよ広瀬団地 ●子育てするなら広瀬団地 ●みらいえいごうニュータウン	
●一生広瀬 ●ようこそ広瀬	
●つどって交流すれば未来がひらける！	
●広瀬だよ！全員集合！	
※追加記入できる欄	

2. 各グループの発表（3分×3グループ）

各グループの議論した内容を3分程度で発表



3. ビジョンへの反映に向けた全体での意見交換（15分）

① 3グループの結果を事務局で総括

② ビジョンへの載せ方について全体で意見交換



4. アドバイザーからの講評（4分×2名）

本日はありがとうございました
次回のプラットフォームは、

日程：10月21日（月）10：00～

場所：広瀬団地2丁目集会所

よろしくお願いします。